Confidential

「プロジェクト名について」

提案依頼書（RFP）

（Ver1.0）

2018年2月16日

株式会社◯◯

ご提案のお願いにあたって

今回、貴社に対して本依頼書を提示し、これに基づいた開発管理に関する具体的なご提案をいただきたくお願い申し上げます。

尚、本依頼書には弊社の現状、経営に関する考え方について言及しております。貴社におかれましては、別途取り交わさせて頂く機密保持契約書に基づいた慎重なお取り扱いをお願い致します。

株式会社〇〇

1. 概要
   1. 本プロジェクトについて
      1. プロジェクト名
      2. プロジェクトの背景と目的
   2. 提案スケジュール（案）
   3. 参加条件
   4. 選定方法（選定評価軸）  
      ご提案を元に牡蠣評価軸を中心に客観的かつ公平に選定いたします。  
      ・RFPの理解度  
      RFPの内容及び弊社のサービス内容を十分理解した上でメリットのある提案がされている  
      ・システムの柔軟性及び拡張性  
      機能の拡張性  
      標準的な技術アーキテクチャの選定  
      保守及び運用の容易性  
      ・計画の妥当性  
      スケジュール及び構築体制において十分な実現性が提示されている  
      ・プロジェクトの実行  
      プロジェクトマネージャーの経験、資質  
      ・コストの妥当性  
      見積根拠、計算方法が明確且つ妥当である
2. 提案依頼要領
   1. プロジェクト名の概要
   2. 各システムとのインターフェース  
      システム連携イメージ
   3. 開発業務範囲
   4. 機能要求
      1. 想定利用ユーザー概要
      2. システム概要
      3. マネジメント機能概要  
         マネジメント機能については運用に必要と想定される機能をご提案ください。
      4. 外部データ連携について  
         仕様が確定されていませんが、事前に提示しているシステム以外ともデータをインポート・エクスポートする機能、並びにXMLなどを用いたWebサービスでの連携がシステム概要に含む可能性があることを予めご了承ください。
   5. 開発フェーズ  
      初期フェーズ  
      時期フェーズ意向
   6. 構築要求
      1. 開発手法・開発言語  
         ・開発言語については製品特有な開発言語などは避け、汎用的な者を選定しご提示ください。  
         ・各工程を明確にご提示ください。また、要件定義や基本設計においてはその内容が容易に理解できる表現力を持った手法であること。  
         ・要件変更や設計変更があった場合、どの工程までであればフィードバックが可能かをご提示ください。
   7. 性能要求
      1. 稼働率要求  
         ・稼働率99.99%（計画停止を除く稼働実績）  
         ※常識的範囲内で100%に近づけるためのインフラ・運用面でのコストバランスをご提案ください。  
         ※想定稼働率に条件があれば理由と一緒にご提示ください（Android端末については99.99%等）
   8. 運用要求
      1. システム運用  
         必要とされる運用項目について対応可能な条件、２４時間✕３６５日、御社営業時間なども合わせてご提示ください。  
         システム計画停止が必要とされる場合はその作業内容と頻度、１回あたりの想定時間及びスケジュールをご提示ください。
   9. セキュリティ運用
   10. 保守内容
   11. 管理要望
       1. プロジェクト管理手法
       2. 開発プロジェクト体制
   12. 納品成果物  
       ・システム仕様書（ソフトウェア詳細構成、各設定定義書）  
       ・基本設計書  
       ・詳細設計書  
       ・プログラム設計書  
       ・プログラムソースコード  
       ・テスト仕様書＆テスト結果報告書  
       ・運用設計書＆運用手順書
   13. スケジュール  
       提案スケジュールの内容に沿って構築スケジュールをご提示ください。
3. 保守条件
   1. 保守サービス時間帯  
      保守サービスについて描きを基準に提案してください。  
      ・本番環境：２４時間✕３６５日  
      ・検証環境：土日祝日を除く平日09:00〜18:00  
        
      （１）監視方法  
      上記条件を満たす事を前提として、本システムの監視方法について提案書に明記してください。リモート監視を想定する場合には、セキュリティ確保の方法についても併記してください。  
        
      （２）保守  
      ソフトウェア保守、ハードウェア保守について、障害児対応拠点、対応時間帯及び時間外対応の条件、並びに保守開始までの時間について明記してください。  
        
      （３）連絡体制  
      保守に関する連絡窓口及び体制を明記してください。  
        
      （４）無保証期間  
      瑕疵対応の期間と条件について明記してください。
4. 開発条件  
   システム開発における諸条件は以下のとおりです。
   1. 開発場所  
      開発場所の提供は行ないません。システム仕様書の設計打ち合わせ及びレビューの場所については当社会議室を提供します。
   2. 開発機材の貸与について  
      システム開発に必要となる私財（開発用ツールの購入及び利用料、サーバー、クライアント端末、ルーター、HUB等の周辺の検収までの費用等）は、貴社の負担とします。当社が提供する会議室、電気料金、通信費、コピー用紙等の消耗品は当社負担とします。
   3. 貸与資料  
      システム開発に必要な資料について、返却が必要なもの及び持ち出し禁止条件に該当するものに関しては契約書の機密保持条項に基づき、所定の手続きにより貸与します。
   4. 外部委託について  
      今回ご提案頂くサービスについて、グループ会社、提携会社及び外部委託会社があれば、貴社との関係をご提示ください。
5. 発注条件  
   契約形態についてはご提案ください。また、アプリケーション開発及びシステム保守、運用については業務委託契約にてお願い致します。契約の内容に前提条件が必要な場合はご提示ください。運用トレーニング、支援等に関しては請負契約とする予定です。ハードウェア、システムソフトウェア、パッケージソフトウェア、カスタマイズについては貴社にて自由にご提案ください。  
   1. 検収  
      当社で検収テスト契約書に従ってテストを実施し、合否判定を行ないます。判定結果は、本番稼働（切替）の前日までに通知します。検証期間は最低１ヶ月とさせていただき、その期間内において御社のサポート内容を含めてご提示ください。
   2. 支払条件  
      検収日が属する月の翌月末に貴社が指定する銀行口座へ振り込みます。
   3. 保証年数  
      原則として、検収合格後１年間を瑕疵担保責任期間とします。但し、当社で改造を加えた場合にはその限りではありません。納品後３年間をサービス保証期間とします。但し、ハードウェア、OS、プロダクト製品等で３年間の保証を満たせないものについては保証条件を明記してください。
   4. 機密事項  
      当社から提供した資料、情報、作業の中で知り得た情報の機密保持のために、別途機密保持契約を締結してください。
   5. 著作権  
      完成したシステムの所有権、著作権、知的財産権、２次的著作物の利用権は対価の支払いの時点で当社に移転することとします。但し、貴社が所有するパッケージ部分についてはこの限りではありません。
   6. その他  
      仕様確定後に発生した仕様変更、機能追加、サポート範囲変更については、別途締結するシステム開発契約の条項に基づいて取り扱うものとします。システム開発における貴社の再委託先については、所定の手続きにより当社へ報告するものとします。当該再委託先によるリスクについては貴社の負担とします。